

# 地域産業の振興対策の拡充

【担当省庁】 経済産業省

## 奈良県における取組



令和4年度の皮革産業振興対策事業費補助金約350万円について、宇陀市菟田野毛皮革産業振興協議会に対し採択いただき、奈良県の皮革関連産業の振興を図ることができ感謝。

### これまでの主な取組

本県の地場産業のひとつである皮革関連産業は、小規模事業者が大半を占め、経営基盤は脆弱であり、国際競争力も乏しい。貿易自由化の進展の中で、産地の競争力強化の取組に対して、次のような支援を実施。

#### ①新商品開発支援

- ・令和2年度の新商品開発支援による自社草履のロゴ制作に続き、令和3年度は、草履の鼻緒と足台の色や柄の組合せを自由に選べ、かつ顧客自身で鼻緒を付け替えられる新商品を開発
- ・新たな取組として、本革を使ったビジネスリュックの新商品イメージデザインを開発
- ・他社製品と差別化を図るための、商品紹介ホームページのWebデザイン開発や、商品外装パッケージのグラフィックデザイン開発など

#### ②販路開拓支援

- ・履物見本市開催事業、毛皮革ファッションフェア開催事業 など



鼻緒と足台の色や柄の組合せが自由に選べる新製品の草履を開発  
※R3履物デザイン開発  
(新製品開発支援)



季節限定のグローブ商品紹介ホームページと誘導用バナーのWebデザイン開発  
※R3スポーツデザイン開発  
(新製品開発支援)



京都府相楽郡「けいはんなプラザ」にて、第27回毛皮革ファッションフェアを開催  
※R3年度実施(R4 1/15、16)  
(販路開拓支援、産地PR)

## 現状

本県皮革関連産業の近年の経営環境は、個人消費の長期低迷、安価な海外製品の流入などにより極めて厳しいうえ、人材も不足している。

加えて、新型コロナウイルス感染症の影響による受注の減少や、円安に伴う原材料費高騰などにより、さらに厳しい状況にある。

SNSの活用やオリジナルブランドの展開、大型展示会への出展による販路拡大などに活路を見いだそうという動きもあり、県も支援を続けているが、十分な成果を上げるには至っていない。

皮革関連企業の経営基盤の強化と産地の活性化を図るため、そして、速やかに業績回復につながるよう、より一層の支援が必要である。

### 奈良県における皮革関連産業の状況

業種		出荷額単位: 百万円	
		令和元年（前年比）	
スポーツ用品	事業者数	8	66.7%
	従業者数	99	65.1%
	出荷額	2,630	88.3%
毛皮革・セーム革	事業者数	9	100.0%
	従業者数	152	76.8%
	出荷額	1,286	98.8%
サンダル及び軽装履	事業者数	11	84.6%
	従業者数	165	90.7%
	出荷額	685	94.1%

## 国にお願いすること

- ① 貿易自由化の流れの中で国際競争力を維持し、地域ブランド力を強化できるよう、**新商品開発、販路拡大などにかかる財政支援（皮革産業振興対策事業費補助金等）の継続・拡充**をお願いしたい。
- ② 一般消費者に対する産地や皮革関連製品のPRなど、**事業継続に向けた振興策の一層の充実**をお願いしたい。